

# 農作業特報

黒部市  
黒部市農業技術会議

コシヒカリの生育は、概ね平年並みに推移しています。中干しが不十分で、まだ田面が柔らかいほ場は、歩くと足跡が浅く残る程度まで、しっかり干し固めましょう。また、田植えの遅いほ場も、田植え後4週間を目途に中干しを始めましょう。

◇コシヒカリの生育状況（6月13日現在：黒部市生育調査 13ほ場平均）

	田植後 日数	草丈 (cm)	茎数 (本)		葉齢	葉色
			株当たり	m <sup>2</sup> 当たり		
R5年	32日	36.1	18.2	378	8.6	4.2
平年*		36.1	18.6	369	8.6	4.3

※平年（H25～R4 平均）

## 1. 中干し後の水管理

○中干し後から幼穂形成期\*まで ※幼穂長が2mmの頃  
「**間断かん水**」を行い、根に水分と酸素を十分に補給し、稲体の活力維持に努めましょう。長期のため水は厳禁です。

◆「**間断かん水**」の目安 ※湛水時はヒタヒタ水で。

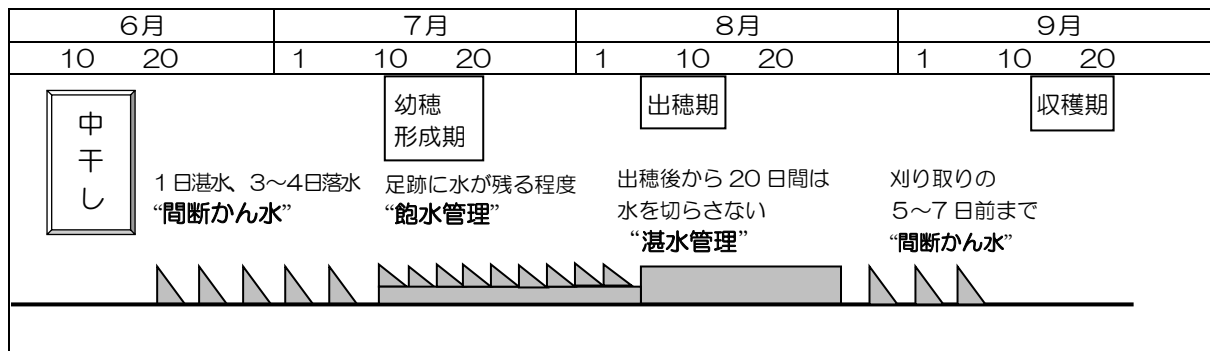
乾きやすいほ場 ⇒ 1日湛水、2～3日落水。

乾きにくいほ場、葉色が濃いほ場 ⇒ 1日湛水、4～5日落水

(注) 肥料等を追肥する場合は、水をためて追肥した後、落水せず自然減水してから「**間断かん水**」に移ってください。

○幼穂形成期から出穂期まで  
「**飽水管理**」を行い、常に足跡や溝に水が残るくらいの状態を保ち、根の活力と葉色の急激な低下を防ぎましょう。

水管理のイメージ（中干し～収穫まで）



【連絡先】 JAくろべ営農センター 52-5615 JAくろべ南部営農支援センター 54-5450  
 富山県新川農林振興センター 52-0945 北部営農支援センター 54-0040  
 東部営農支援センター 65-7220

## 2. てんたかくの管理

### (1) 一発基肥肥料栽培の場合

基本的には追肥は不要ですが、6/下旬に葉色が4.2（粘質土4.0）より淡い場合は、直ちに追肥3号で7kg/10a程度の追肥を行って下さい。

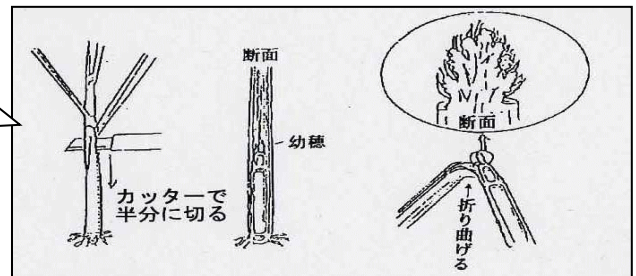
### (2) 分施肥体系※の場合 ※基肥206号+穂肥

1回目（出穂25日前）			2回目（出穂15日前）	
幼穂長	葉色	肥料名・量	時期	肥料名・量
1~2mm	4.2	追肥3号 10kg/10a	1回目施用から 10日後	LP追肥38号 13~15kg/10a

※1回目の穂肥施用前に葉色が4.2以下となる場合は、3日程度早めに施用して下さい。

#### 【幼穂確認の方法】

ほ場内で、平均的な生育の株の最も長い茎を根元から抜き取り、図の要領で確認して下さい。



## 3. 病虫害防除

### (1) カメムシ対策

春先から気温が高めに経過していることから、カメムシ類の発生は平年より多い傾向です。カメムシ類の生息数を抑えるため、えさとなるイネ科雑草の穂が出る前に小まめに除草を行きましょう。また、大麦跡田なども雑草が繁茂しないように適正に管理しましょう。

#### 主要なカメムシ類



アカヒゲホノドリカスミカメ



アカスジカスミカメ



クモヘリカメムシ



イネ科雑草(草丈30~40cm)

地域で一斉に取り組みましょう！

**草刈り運動期間** 7月1日(土)~10日(月)

**一斉草刈り日** 7月1日(土)・2日(日)

\*草刈り時は保護具の着用や熱中症対策等、作業者の農作業安全に十分注意するとともに、周辺の人や車などにも十分注意して下さい。

\*用水付近の草刈りは転落防止に気をつけるとともに、刈り取った草は、用水に流さないで下さい。

### (2) 随時防除

畦畔等の雑草でイナゴ類の発生が多い場合は防除しましょう。

防除時期	農薬	散布量	注意点
6月下旬~7月上旬	トレボン粉剤 DL	3~4kg/10a	畦畔際を重点に防除する。

熱中症予防のため、こまめな水分補給を行い、体調管理に注意しましょう。